

れの寄附金募集と、今日の餘裕ある支出状態とを比較するならば、隔世の感を抱かしむる。これが同盟の誇りとするところだ。

罷業の統制

別に罷業統制の特別機關は有せざるも、組合、聯合會、同盟會に於ける罷業統制は、組合員の常識的批判力の進歩と相並んで、着々有機的統制を行ひつゝある。これ、罷業、工場閉鎖、交渉に依る解決の全般を通じて顯著に認め得るところである。

争議に對する方針

我同盟の争議に對する方針は、一貫して「罷業最少化」の方針である。罷業の政治闘争化、罷業激發主義は我同盟の斷乎として反對するところである。
惟ふに、益々深まりゆく世界的恐慌に依つて、今後愈々勞資關係は尖鋭化するであらう。然し乍ら、この恐慌、行詰りは、國家産業の全面的計畫經濟樹立に依つてのみ解決なし得るところのものであつて、この目的實現は政治的方法以外には無い。即ち、一會社、一工場對労働組合との直接的關係に於ては、最早解決は不可能である。されば「政治的罷業」は事實問題として成立せざるのみならず、無秩序、無統制なる激發主義は、徒らに事を好むものであつて、労働組合の發達を阻み、労働階級の向上を妨げ、「政治的解決」を反つて阻害するものである。
我同盟は、政治的方法に依る根本的解決は、政黨の任務とし、労働組合は能くまで、罷業最少化方針を一貫し、組合の強大、健實なる發達に依り、國民經濟の建設的方面に協力することを以つて任務とすべきものであると確信する。
本年度の労働争議に關する各加盟組合の報告を見て、我同盟の方針が徹底しつゝあるを認めるが、尙、努力の餘地充分あり、一層この徹底化を計るべきを希望する。

罷業一覽表

(自昭和五年九月一日至昭和六年八月三十一日)

| 所属組合名 | 工場名 | 原因 | 発起年月日 | 罷業日数 | 参加人数 | 延べ人数 | 主たる要求 | 主たる解決條件 | 結果 |
|--------|-------------|------------|-----------------------|------|------|-------|--------------------|-------------------------------|----|
| 東京鐵工組合 | 日本鐵釘株式会社 | 解雇反對 | 5. 9. 13 5. 9. 18 | 6 | 57 | 342 | 解雇反對 | 賃 | 有利 |
| 同 | 青木鐵工所 | 同 | 9. 13 9. 19 | 7 | 6 | 42 | 解雇反對 | 賃 | 有利 |
| 同 | 龍野カンパニオン計量機 | 賃金値下 | 6. 1. 20 2. 7 | 18 | 50 | 900 | 三割賃下反對 | 一割賃下、計量歩合本給増入、労務委員及計量機1000圓支給 | 有利 |
| 同 | 昭和製作所分工場 | 退職手賃 規定 | 3. 1 3. 14 | 14 | 62 | 868 | 下等階級、解雇手賃規定 | 15名解雇、手賃1300圓、賃金の前決翌日支給、ネット | 有利 |
| 同 | 伊藤コンクリート | 賃金不拂 | 3. 12 3. 26 | 15 | 15 | 225 | 賃金支拂 | 工場解雇手賃4154圓5錢、争議費用845圓5錢 | 有利 |
| 同 | 天野時計製造品株式会社 | 組合脱退 | 3. 31 4. 30 | 31 | 11 | 341 | 解雇者復職、工場法遵守、解雇手賃規定 | 解雇手賃750圓増給、組合計1780圓支給 | 有利 |
| 同 | 帝國炭練株式会社 | 解雇反對 | 5. 3 6. 10 | 30 | 7 | 273 | 解雇反對 | 賃金支拂、閉鎖 | 不利 |
| 同 | 増盛工場 | 賃金不拂 | 5. 12. 20 6. 3. 26 | 97 | 39 | 3,783 | 賃金支拂、閉鎖 | 3,400圓支給 | 不利 |
| 同 | 細金鑄工場 | 遺失物戻 | 5. 25 5. 28 | 4 | 19 | 76 | 遺失物戻、労働條件低下反對 | 労働條件復元、職長解雇 | 有利 |
| 同 | 坂本工場 | 賃金値下 | 6. 17 6. 19 | 3 | 17 | 51 | 賃下反對 | 賃 | 有利 |